

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のための子どもアンケート結果 (R1.5)

<わかりやすさ (全体) >

・小学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、68.8%となり、前回の73.1%より4.3%減となっている。

・中学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、66.6%となり、前回の50.0%より16.6%増となっている。

<わかりやすさ (英語) >

・小学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、52.9%となり、前回の55.5%より2.6%減となっている。

・中学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、58.4%となり、前回の40.7%より17.7%増となっている。

<わかりやすさ (国語) >

・小学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、64.3%

・中学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、69.5%

・前回結果 (小中合計)

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、67.7%

<わかりやすさ (算数・数学) >

・小学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、71.7%

・中学生

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、58.7%

・前回結果 (小中合計)

「わかる」または「とてもわかる」とした人は、58.1%

<わかりやすさ（社会）>

- ・小学生
「わかる」または「とてもわかる」とした人は、67.5%
- ・中学生
「わかる」または「とてもわかる」とした人は、75.4%
- ・前回結果（小中合計）
「わかる」または「とてもわかる」とした人は、64.6%

<わかりやすさ（理科）>

- ・小学生
「わかる」または「とてもわかる」とした人は、80.2%
- ・中学生
「わかる」または「とてもわかる」とした人は、71.2%
- ・前回結果（小中合計）
「わかる」または「とてもわかる」とした人は、68.4%

<学校生活>

- ・小学生
「楽しい」または「とても楽しい」とした人は、75.2%
- ・中学生
「楽しい」または「とても楽しい」とした人は、74.5%
- ・前回結果（小中合計）
「楽しい」または「とても楽しい」とした人は、74.9%

◎授業をわかりやすいと思う子どもについては、中学生においては、大きく増加したが、小学生において減少している。前回結果における科目ごとの内訳が出ていないため、詳しい比較はできないが、前回の小中合計の数値と比べると、今回小学生の結果が低くなっているのは国語となっている。また、他の教科と比べると、小中とも英語がわかりやすいとする子の割合が低い。